

海遊館25周年記念シンポジウム

生物多様性ってなんだろう？ ～琵琶湖・淀川・大阪湾から考える～



海遊館は、お蔭様で今年で25周年をむかえることができました。これまで、生き物のすばらしさや自然環境の大切さを発信してまいりましたが、25年の節目にあたり、4月24日より生物多様性に焦点を当てた企画展を、また、関連イベントとしてシンポジウムを開催することになりました。テーマを琵琶湖・淀川・大阪湾とすることで、より身近に生物多様性の意義を感じていただければ幸いです。

シンポジウムでは、テレビ番組等でご活躍の木村尚氏をはじめ、多くの専門家によるお話に加え、学生のみなさんにもご参加いただき、若い世代が広い視野で環境問題を考える一助となることを願っています。参加記念として1人につき1冊「ジンベエザメノート」をプレゼントいたします。ぜひご応募ください！

◆日時：平成27年10月11日(日)9:30～16:30

◆場所：海遊館ホール(海遊館エントランスビル2階) ※参加料無料

◆募集概要

応募資格：小学生以上のどなたでも参加できます。

申込方法：下記の応募先に以下の内容をメールでお送りください。

メールタイトル「シンポジウム参加」

①代表者の氏名、ふりがな、年齢(学生の方は学年)

②代表者の居住地(例：〇〇県〇〇市など)

③代表者以外の参加者の氏名、ふりがな、年齢(学生の方は学年)

④参加合計人数

※先着順で受付し、定員(150名)になり次第締め切りとさせていただきます。

※募集にあたって収集した個人情報、メールの返信など、本イベントに関する目的のみに使用します。

※1つのメールにつき、10名様までご応募できます。

応募先：osakabay@kaiyukan.com

問い合わせ：海遊館インフォメーション 06-6576-5501 (9:30～17:00)

基調講演：「生物多様性とアマモ場の役割～森里川海のつながり～」

NPO海辺づくり研究会 木村尚氏



木村尚(きむら たかし) 昭和31年神奈川県横浜市生まれ58歳

NPO法人海辺づくり研究会理事(事務局長)・東京湾の環境をよくするために行動する会幹事、(株)MACS取締役、(株)森里川海生業研究所取締役、(株)joyF取締役、NPO法人共存の森ネットワーク理事、東京湾再生官民連携フォーラム委員他多数の市民活動団体に参加協力している。

原体験の海は石川県能登半島。東京湾を子どもたちが泳げる豊かで美しい海にしたいと考え、市民参加型でワカメの育成による水質浄化や、アマモ場再生活動、干潟の再生、海苔養殖の復活、子どもたちの海辺の自然体験活動の支援や指導者育成、東京湾の環境に関連するセミナー開催などを行っている。

主な著書として「森里川海をつなぐ自然再生」(共著)「ハマの海づくり」(共著)「海辺の達人になりたい」(共著)「江戸前の魚喰いねえ 豊饒の海 東京湾」(共著)がある。

現在、日本テレビ系「ザ！鉄腕！ダッシュ！！：ダッシュ海岸をつくりたい」にレギュラー出演中。他、平成26年11月放送のNHK Eテレの東北発未来塾に塾長として出演した。

スケジュール

午前の部 ～ 学生による調査活動の発表および交流 ～

- 9:30～ 開会のご挨拶 海遊館館長 西田清徳
- 9:35～ 基調講話 「琵琶湖・淀川・大阪湾の水のつながりの話」 海遊館・北藤真人
- 9:50～ 学生による発表
- 口頭発表
- ・「朝日小学校区における水生生物の生息と水環境」 滋賀県長浜市立朝日小学校
 - ・「淀川にイタセンパラがもどってきた！」 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク
- 10:30～ ポスター発表
- ・「フィールドワーク部の活動報告ー海や川の調査からわかってきたこと」 大阪府立泉鳥取高校フィールドワーク部
 - ・「尼崎の海と大地をつなぐ命の循環 ～尼海への恩返し～」 尼崎ネイチャークラブ
- 10:50～ 学生による発表
- ・「大阪湾の生き物～大阪南港野鳥園を探索して～」 大阪市立築港中学校
 - ・「光陽中学校 蟹クラブ 平成27年度の活動」 岸和田市立光陽中学校
- 11:30～ フリートーク(学生たちの交流)
- 12:00～13:00 昼休憩

午後の部 ～ 専門家による現状報告と今後の展望～

- 13:15～ 開会のご挨拶 海遊館館長 西田清徳
- 13:20 基調講演
- 「生物多様性とアマモ場の役割～森里川海のつながり～」
NPO法人 海辺づくり研究会 木村 尚 氏
- 14:00 講師によるレクチャー
- 「日本の外来種問題の現状と環境省の取組について」
環境省自然環境局野生生物課 曾宮 和夫 氏
- 「野外活動を基盤とした環境学習の紹介 ～自然調査ゼミナールの取り組み～」
滋賀県立琵琶湖博物館 間所 忠昌 氏
- 14:50 休憩
- 14:55 「淀川のシンボルフィッシュ・イタセンパラの保全活動について」
大阪府立環境農林水産総合研究所水生生物センター 上原 一彦 氏
- 「大阪湾の外来生物 その分布はどう決まる？」
大阪市立自然史博物館 大谷 道夫 氏
- 15:45～休憩・会場準備
- 15:50～パネルディスカッション
- 16:30 終了

